

# 学生の中から見たIT業界

---

2017年6月8日

ソフトウェア・シンポジウム 2017

Future Presentaiton

東京工業大学 特任准教授 森本千佳子

# 大学が取り組む実践教育(enPiT)

- 情報系大学と産業界が連携して「実践的」な教育を行う
- 4つの分野
  - ビッグデータ・AI、セキュリティ、組込み、ビジネスシステムデザイン
- 基礎知識＋PBL＋合宿＋発展学習
  
- 2013年～2016年 修士学生向け
- 2017年～ 学部生にも拡大

<http://www.enpit.jp/>



# 実践教育をしたら何が起こったか？

- 産業界との距離が近くなった
- 企業で働く自分の姿がイメージしやすくなった
- 博士課程に行くより、早く現場で実践してみたい

# 実践教育をしたら何が起こったか？

- 産業界との距離が近くなった
- 企業で働く自分の姿がイメージしやすくなった
- 博士課程にいくより、早く現場で実践してみたい
  
- どの会社に就職するか？よりも、  
「**どんな仕事か**」できるか？」で会社を選ぶようになった
- やりたい仕事ははっきりしない場合でも、「**誰と**働けるか？」で会社を選ぶようになった  
(ciitaやgithubで有名な人、アジャイル界隈で有名な人など)
- **ステップアップ(転職)**を前提にしたキャリアデザインが増えた
- **起業**が選択肢のひとつになってきた

# 実践教育をしたら何が起こったか？

- 産業界（大手メーカーやSI企業など）は、実践教育に協力してきたが、学生が自社にきてくれなくなった・・・
- 大丈夫（？）  
エンジニアリングに自信が無い学生は大手に行きます。もしかしたら自信がある学生も行くかもしれません。でも長くそこで働いてくれるかは分かりません。  
  
・・・それでいいですか？

# 実践教育をしたら何が起こったか？

- エンジニアとして「腕」を磨きたい
- スキルアップしたい
- xxを開発してます、と言いたい
- 横の繋がり(学生・社会人)ができたし、簡単に繋がるので、情報(特に悪いウワサ)があっという間に広がる
  
- 「専門職キャリア志向」が明確
- 従来のIT業界では、「複合型(専門職志向＋組織志向)」が中心(年齢があがると組織志向が強まっていた)